

# 「どうする かぼちゃん」

—総合的な学習の時間を通した、A児の自尊感情を高めるためのかかわり—

○自尊感情

小学校 3年

## 1 題材設定の趣旨

- 生活科の活動で自分の願いを実現する喜びを感じてきた子どもたちに、栽培や調理の場面で、友とかかわりながら自分の願いをより一層粘り強く実現する活動を通して、自尊感情を高めていくようにする。

## 2 ねらい

- 自分たちで育てた作物を素材として、作りたい料理の調理法を家族や地域の人から教わったり自分で調べたりする。
- 友達とかかわったり、自分で試行錯誤したりしながら、実際に調理をする。
- 試食を通して自分の活動を確かめたり、友だち同士で認め合ったりする。

## 3 A児の自尊感情を高めるための仮説

- 先天性の持病により入退院を繰り返してきたA児は、身辺自立や友だちづくりなどが苦手な状況にあった。A児に対し友だちは温かく接していたが、「面倒を見てあげる弟」として接しているようにも見えた。そこで、このような関係を脱し、A児が一人の対等な人間として認められ、A児自身も自分のよさに気付いて自信を持つような学級づくりをしたいと考えた。そして、A児が自尊感情を高めるには、生活科や総合的な学習の時間の体験活動が有効だと考え、手だてを模索してきた。
  - 1、2年の生活科の活動から見えてきたのは次のような仮説である。

< A児が自尊感情を高めるために >

必要なかかわり

必要な教師の手だてや支援

### 素材と自分

自分のことが、自分でできたと実感できるような素材とのかかわり

- 体験活動の場を多くする。…………… 素材 1
- A児ができる事と無理な事を見極める。…………… 素材 2
- 自己決定の場を作る。…………… 素材 3
- A児のペースに合わせ、時には見守る。…………… 素材 4
- 家庭との連携を大切にす。…………… 素材 5

### 友だちと自分

「一緒にできた」「力になれた」「支えてもらった」と自分の存在価値を実感できるような友達とのかかわり

- 友だちと活動する場面を作る。…………… 友だち 1
- A児の役割がつけられるよう配慮する。… 友だち 2
- 困ったときに友達とかかわれるよう、教師が余計な手を出さない。…………… 友だち 3

### 自分と自分

周りから工夫や努力が認められることで自分の活動を見返せるようなかかわり

- 独立して活動する場面を作る。…………… 自分 1
- 友だち同士で認め合う場面を作る。…………… 自分 2
- 家族や地域に認められる機会を作る。…………… 自分 3

本題材でも、この三つのかかわりと教師の手だてや支援に配慮し、活動を仕組んだ。

4 学習の流れ（3年・総合的な学習の時間の年間活動内容）

月	学習内容（時数）	活動内容（人権教育の視点）	評価
4月	①春を味わおう (4)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・春さがしに出掛け、自分で野草を摘む。 「Jちゃん、のびろ採るの名人だね」 <b>みんなでお料理して食べたい</b></li> <li>・自分で考えた方法で調理する。 「わたしは油みそいためを作ろう」 (自己実現・自尊感情)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>※「のびろ」は「のびる」のこと</li> <li>・これまでの体験が生かされた。</li> </ul>
5月	②夏野菜を育てよう (2)	<p><b>今年も野菜を作るぞ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の育てたい野菜を決める。トマト・かぼちゃ・きゅうり・なす・ズッキーニなど。</li> <li>・種や苗を学校近くの店に買いに行ったり、家から持ってきたりする。 「お店のおじさんがおまけしてくれるって言ったんだけど、あたし遠慮したの」 「おつり、落としちゃった。どうしよう」 ・うねを作り、苗を植える。(自己実現)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分で用意することで「わたしの野菜」に近付いた。</li> </ul>
7月	③うめ料理に挑戦 (4)	<p><b>学校で採れた梅の実でお料理してみようかな</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校のうめの実を収穫する。</li> <li>・自分の作りたい料理を決めて調理する。うめシロップ・甘漬け・カリカリ漬け・ジャムなど。</li> <li>・うめまつり（試食会）をする。 「わたしはJちゃんの味が1番好き」 「お酒みたい。おいしいよAくん。お父さんにあげるといいよ」 (自己実現・自尊感情・多様性の尊重)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・協力して収穫できた。</li> <li>・友達の味のよさや違いを認め合うことができた。</li> </ul>
8月	④カレーライス 定食を作ろう (4)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・収穫した夏野菜で作りたい料理を話し合う。今回は班ごと作ることに決まる。</li> </ul> <p><b>音楽会で発表した「カレーライスつくろう」 みたいに、本当にカレーライスを作っちゃおう</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・カレーライス班・ポテトサラダ班・じゃがバター班に分かれ、作り方を調べた。</li> <li>・調理をし、味わう。(非攻撃的自己主張)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・互いの意見をまとめて作り方を決めることができた。</li> </ul>
9月	⑤大根を育てよう (2)	<p><b>今年はおでんを作って食べたいな</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の選んだ品種の種をまく。丸尻大根・ビタミン大根・総太り大根・信州地大根など。</li> <li>・間引きや土寄せ、追肥などの世話をしている。 (自己実現)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・去年の体験を基に決めていた。</li> </ul>
10月	⑥どうするか かぼちゃさん (6)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・J児とA児のかぼちゃがたくさん採れた。 「つるがぐんぐん伸びてすごいよ」 「こんなにたくさん、どうしようか」 <b>みんなでかぼちゃをお料理したいな</b></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・世話をするうちに「みんなのかぼちゃ」になった。</li> </ul>

11月		<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の作りたい料理を考え、一人で作るか、友だちといっしょに作るか決める。</li> <li>・かぼちゃ料理を作って、みんなで味わう。 (自己実現・自尊感情・多様性の尊重)</li> </ul>	
12月	⑦おやきを教わろう (3)	<p><b>どうしたらおやきの皮がやわらかくなるの？</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・かぼちゃのおやきの皮が固かったことから、生活改善グループの先生に、おやきの作り方を教わりながら作ってみることにする。 「うんとこねれば固くならないんだね」 「皮がこんなにのびるよ」 (自己実現・コミュニケーション能力)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の人に解決の方法を求めた。</li> </ul>
1月	⑧わたしのおやき作り (5)	<p><b>オリジナルおやきを作りたい</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教わった作り方を基にして、自分の作りたい具を入れたおやきを作り、みんなで試食する。かぼちゃ・大根・なす・挽肉とトマトなど。 「皮が厚くなっちゃった」「うまく包めないよ」</li> </ul> <p><b>おいしいおやきを作りたい</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・どうしたらおいしくなるか考え作ってみる。 「おばあちゃんがね、具をいっぱい入れるといいんだって」 (自己実現・自尊感情・多様性の尊重)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・うまくいかない体験が、次の活動の課題と意識につながった。</li> </ul>
2月 3月	⑨大根料理を作ろう (6)	<p><b>おいしい大根料理を作ってごちそうしたい</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・収穫した大根を使って、みんなでふろふき大根を作る。他のクラスに食べてもらう。</li> <li>・おでんや大根引きを作って、学習発表会でおうちの人に食べてもらう。 「カレー味の大根引き、塩味がつかないよ」 「あっ、ちゃんと面取りしてあるね」(保護者)</li> </ul> <p>・お世話になったAETの先生に大根引きやふろふき大根を作って食べてもらう。 「今日は塩を先に入れたから味ついてるね」(後日)「Z先生からお手紙もらった！」 (自己実現・自尊感情・共生)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学級外の人に認められたことで、「わたしの味」から「わたしたちの味」へ意識が広がった。</li> </ul>

## 5 具体的な活動内容

A 題材名「どうする かぼちゃさん」

B ねらい

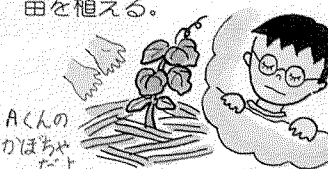

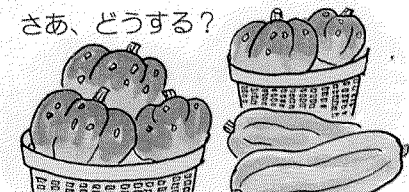
- ・収穫したかぼちゃに関心を持ち、作りたい料理を考える。}
- ・作り方をおうちの人などから聞いてきて、見通しを持つ。}…………… 素材と自分
- ・友だちとかかわりながら、試行錯誤して調理に取り組む。…………… 友だちと自分
- ・試食をして自分や友だちの味の違いや工夫を感じる。…………… 自分と自分


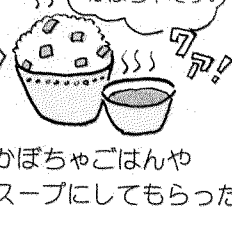

C 指導上の留意点


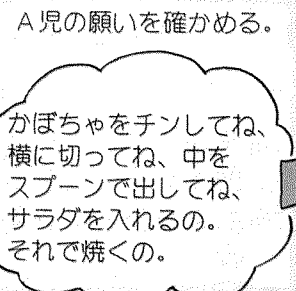

- ・危険な作業は手助けをしたり、注意を促したりする。
- ・本人が習熟している作業、危険でない作業では見守る。
- ・友だちとかかわれるよう声をかけていく。



D 実践記録 (全6時間)

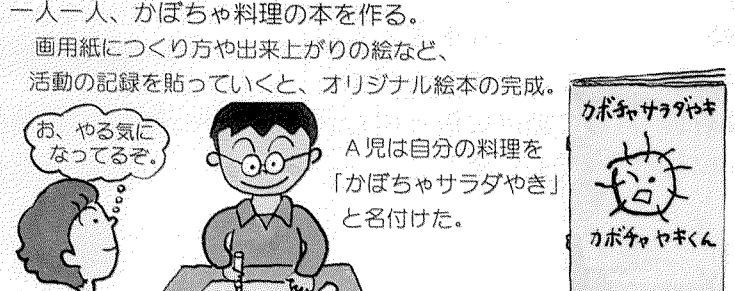

調理にいたるまで **素材と自分**とのかかわりを深めていくA児

<p>5月 「夏野菜を育てよう」</p> <p>A児が入院中なので みんなで韓国かぼちゃの 苗を植える。</p>  <p>Aくんの かぼちゃ だよ。</p>	<p>9月「かぼちゃの絵(図工)」</p> <p>大きくなったかぼちゃの 絵を描く。</p> 	<p>10月 収穫</p> <p>J児とA児のかぼちゃが たくさんとれた。</p> <p>さあ、どうする?</p> 
---	--	--

<p>その① 給食で使ってもらおう。</p> <p>大はばお惚切</p> <p>ばくの かぼちゃ だよ。</p> <p>洗って ハンカチが かけてある。</p> <p>給食室へ運ぶ。</p> 	<p>今日のかぼちゃは 3年生の育てた かぼちゃです。</p> <p>かぼちゃごはんや スープにもらった。</p> 	<p>その② みんなでお料理しよう。</p> <p>パンキンバイ つくろうかな。</p> <p>あたしは 甘煮だよ。 お母さんに 聞いてきたよ。</p> <p>おのし の本</p> 
---	---	---

<p>教師</p> <p>Aくんは 何つくるの?</p> <p>へん すごいね。</p> 	<p>A児の願いを確かめる。</p> <p>かぼちゃをチンしてね、 横に切ってね、中を スプーンで出してね、 サラダを入れるの。 それで焼くの。</p> 	<p>おうちで中学生のお姉さんが</p> <p>こういう料理も いいんじゃないの?</p> <p>素材5</p> <p>とアイデアを出してくれた。</p> 
--	--	--

<p>で、サラダは どうするの?</p> <p>…サラダは 入れるの。</p> <p>そうじゃ なくてさ...</p> 	<p>サラダを作る 見通しは なかつた らしい……。</p>	<p>そこで、聞き返しながらか、作り方を 考えるようにした。</p> <p>かぼちゃに 何をまぜるの?</p> <p>味つけは どうする?</p> <p>マヨネーズ 入れる。</p> <p>ハム かな。</p> <p>素材3</p> 
---	--	---

<p>一人一人、かぼちゃ料理の本を作る。</p> <p>画用紙につくり方や出来上りの絵など、 活動の記録を貼っていくと、オリジナル絵本の完成。</p> <p>お、やる気 になってるぞ。</p> <p>A児は自分の料理を 「かぼちゃサラダやき」と名付けた。</p>  <p>カボチャサラダやき</p> <p>カボチャやきくん</p>	<p>調理日記</p> <p>お姉さんの 書いてくれた レシピ</p> <p>自分で えらんだ かぼちゃ</p> <p>うちのから持て きたゆでたまご</p> <p>いよ調理室へ</p> 
--	--

※          は、教師の手だてや支援